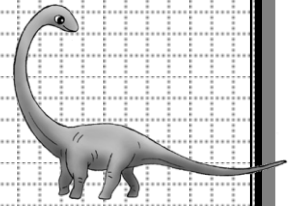


2015年1月

地質 No. 10

# けんぱくものしりシート

## こつしつしちょうるい じょうわんこつ 骨質歯鳥類の上腕骨



### こつしつしちょうるい じょうわんこつ 骨質歯鳥類の上腕骨

- **骨質歯鳥目** シュウドントオルニス科【シュウド(擬)+ドント(歯)+オルニス(鳥)】
- **学名** : Pseudodontornithidae gen. et sp. indet.
- **発掘地** : 岩手県奥州市前沢区生母の新第三紀前期鮮新世 竜の口層  
 ※1981(昭和56)年に発見されたマエサワクジラ(体長5m)を調査した時に同じ地層から偶然発見された。
- **特徴** : 上腕骨の長さは約66cmで内側は空洞になっている。  
 嘴には、骨でできた突起状の歯がある。

### もちぬし 持ち主はだれ?

今から約500万年前に生息していた大型の海鳥の上腕骨(肩からヒジにかけての部分)です。翼を広げると5m以上の大きさでした。上腕骨の内側は空洞になっていて、飛行する鳥類の多くに見られる特徴の一つです。少しでも軽い体で空を飛べるように長い時間をかけて進化してきました。さらに詳しく調査をすると、日本ではまだ確認されていなかった「骨質歯鳥類」のものであることがわかりました。

こつしつ し ちようらい とり  
骨質歯鳥類ってどんな鳥？



そら と  
**空を飛べたの？**  
おどろ  
驚くべきことに、この  
おお うみどり いわて そら  
大きな海鳥は岩手の空を  
と  
飛んでいたのである。  
かせき ふく すべ ちようらい  
化石を含む全ての鳥類  
なか そら と げんかい おお  
の中で、空を飛ぶ限界の大  
きさは体長5~6m とされて  
いる。

は  
**歯がある！？**  
くちばし は くちばし  
嘴に歯があるが、嘴と  
は あいだ は ぐき  
歯の間に歯茎のようなもの  
はない。エサを落とさないた  
め すべ ど やくわり  
の滑り止めの役割をしてい  
た と かんが  
と考えられる。

**エサは？**  
げんざい ちきゅうじょう とり おな さかな  
現在、地球上にいる鳥たちと同じように魚や  
イカなどを丸のみしていたと考えられる。



やく まんねんまえ  
約500万年前のようす

おおむかし きたかみさん ち おう う さんみやく あいだ あさ ひろ うみ  
大昔の北上山地と奥羽山脈の間には、浅くて広い海  
ひろ  
が広がっていました。上腕骨が発見された竜の口層から  
は、サンゴやサメの歯・浅い海にすむ巻き貝の化石なども  
み  
見つかっています。約500万年前の岩手県は、大型の動物た  
ちも暮らすことができるくらいとても豊かな大自然が広  
がっていたのです。



こ せん だい わん こ ち り ず  
古仙台湾の古地理図  
ほそ せん げんざい かいがんせん  
細い線...現在の海岸線  
ふと せん やく まんねんまえ かいがんせん  
太い線...約500万年前の海岸線

さんこう にした ほん 『いわて けんりつはくぶつかんけんきゅうほうごうこくだい 3ごう』 いわて けんりつはくぶつかん 1985ねん

らいげつ (がつ) の  
けんぱくものしりシートは  
こうこ  
考古-10だよ！  
おたのしみに！



**岩手県立博物館**  
〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34  
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214  
http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/